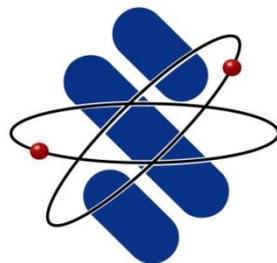


◆ 平成30年3月期 第2四半期累計期間
業績レビューと見通し



平成29年10月31日

 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

目次

会社概要	3
平成30年3月期 第2四半期累計期間 業績レビュー		
1 業績概要	5
2 経営成績	6
3 業種別売上比率(全社)	7
4 業種別売上高(全社)	8
5 業績推移(過去5年)		
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6 貸借対照表	11
平成30年3月期 業績見通し		
7 対処すべき課題の進捗状況	13
8 平成30年3月期業績見通し	14

会社概要

“Knowledge Integrator”

社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 情報システムの開発・ システムインテグレーション・サービス・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング・ BPOエントリースervice
社員数	432名（2017年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	1,376名（2017年9月30日現在）

平成30年3月期 第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要

売上高

3,153百万円

(前年同期：3,029百万円)

営業利益

277百万円

(前年同期：173百万円)

四半期純利益

189百万円

(前年同期：112百万円)

経済動向

- わが国経済は、緩やかな回復基調を維持
- アジア地域を巡る政治経済施策への警戒感の高まりがあり、不透明な状況が継続

情報サービス産業の動向

- 多様化するデジタルビジネスサービスの提供が期待される一方、従来の既存システムサービスの要員確保も求められており、双方のビジネスにおける適切な人材育成・確保が重要な課題

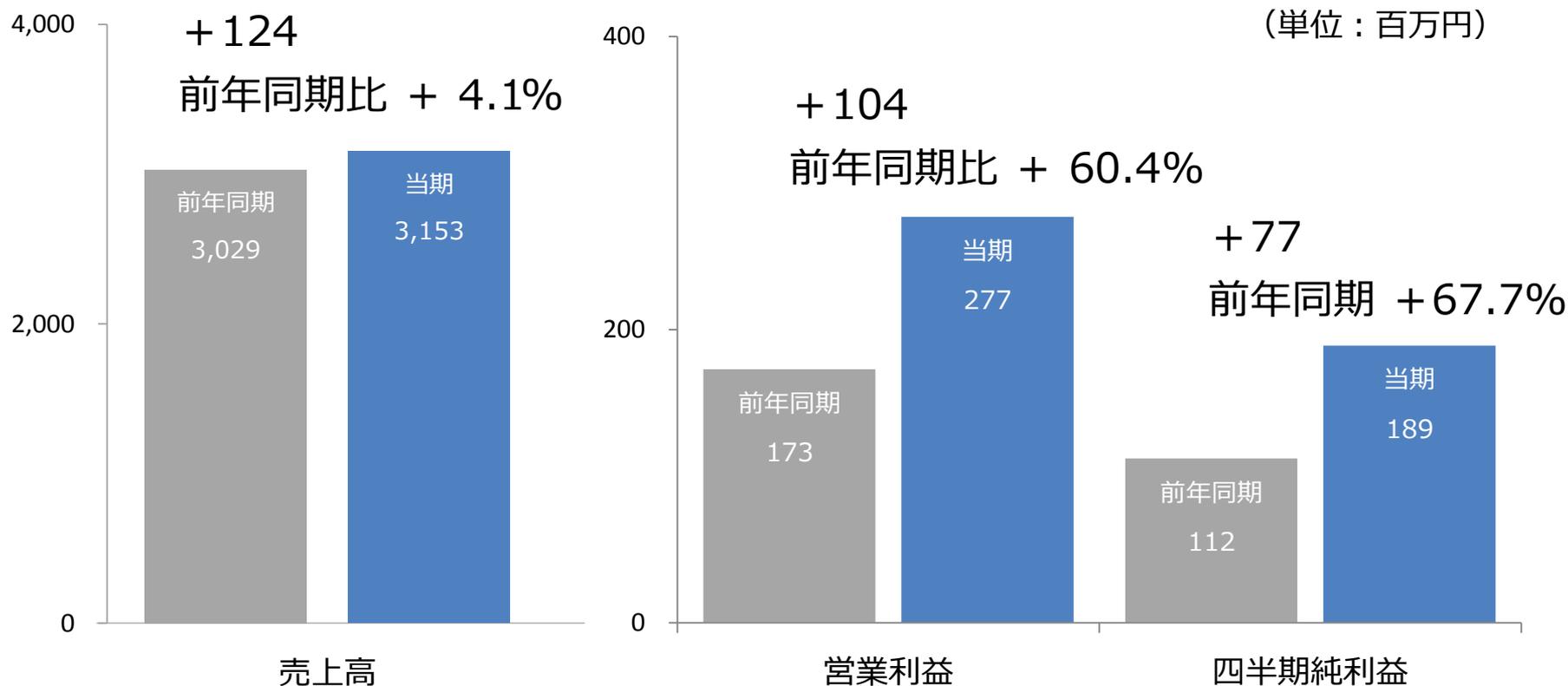
当社の動向

ビジネスの選択を推し進める中で、顧客要求に基づく積極的な提案活動の取り組みを行うとともに、前期から引き続き資源の集中及び生産性向上に努め、前年同期比60.4%増の営業利益を達成

2. 経営成績

“Knowledge Integrator”

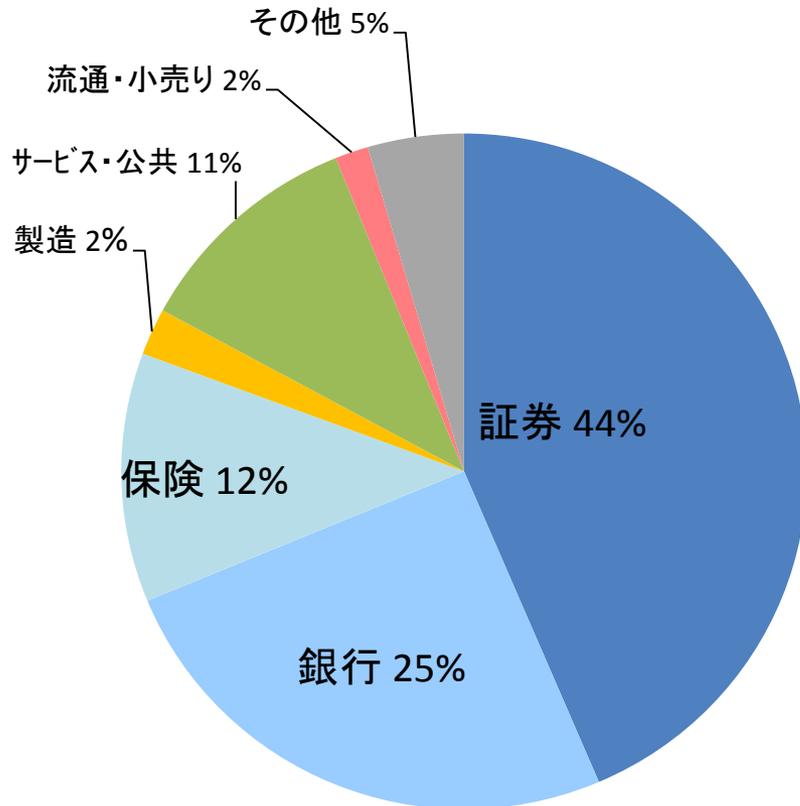
前年同期対比で增收増益



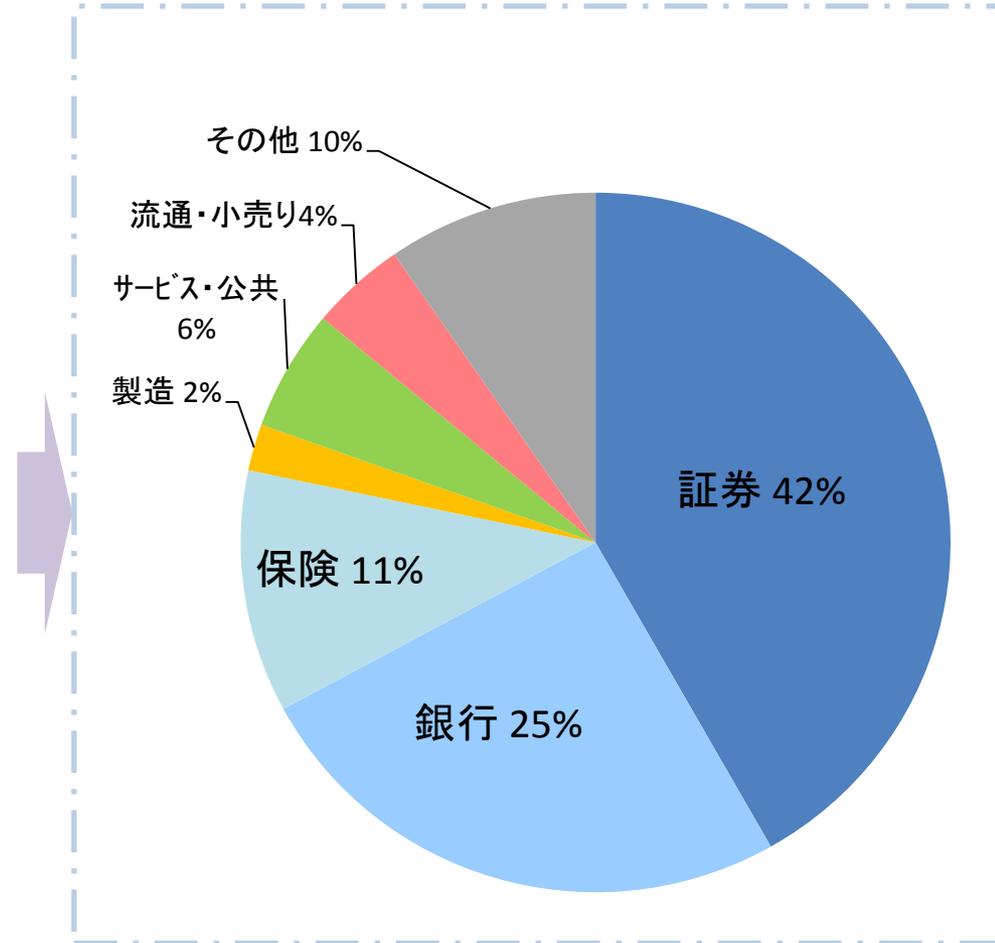
3. 業種別売上比率 (全社)

“Knowledge Integrator”

平成29年3月期 第2四半期累計

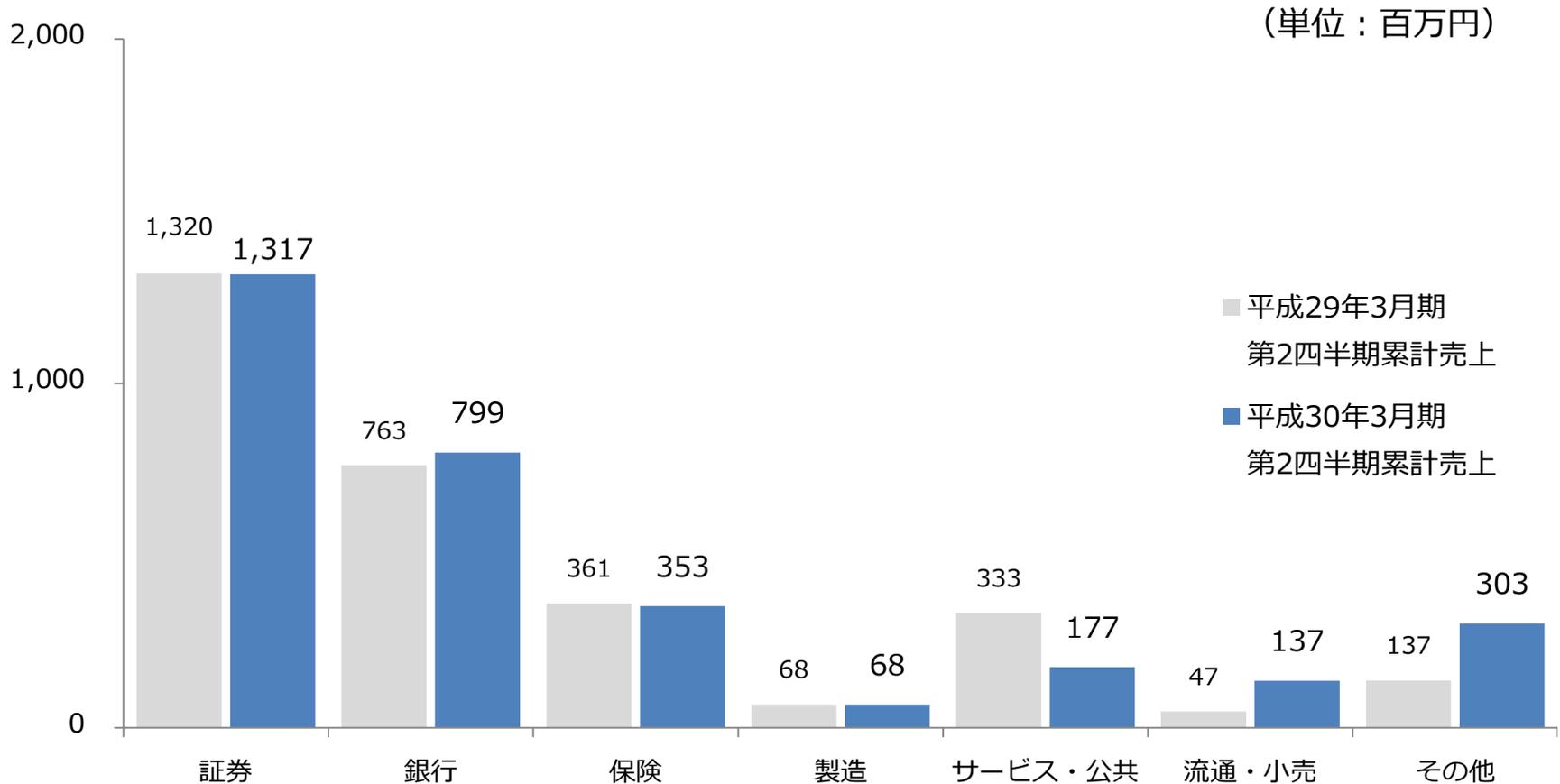


平成30年3月期 第2四半期累計



4. 業種別売上高（全社）

“Knowledge Integrator”

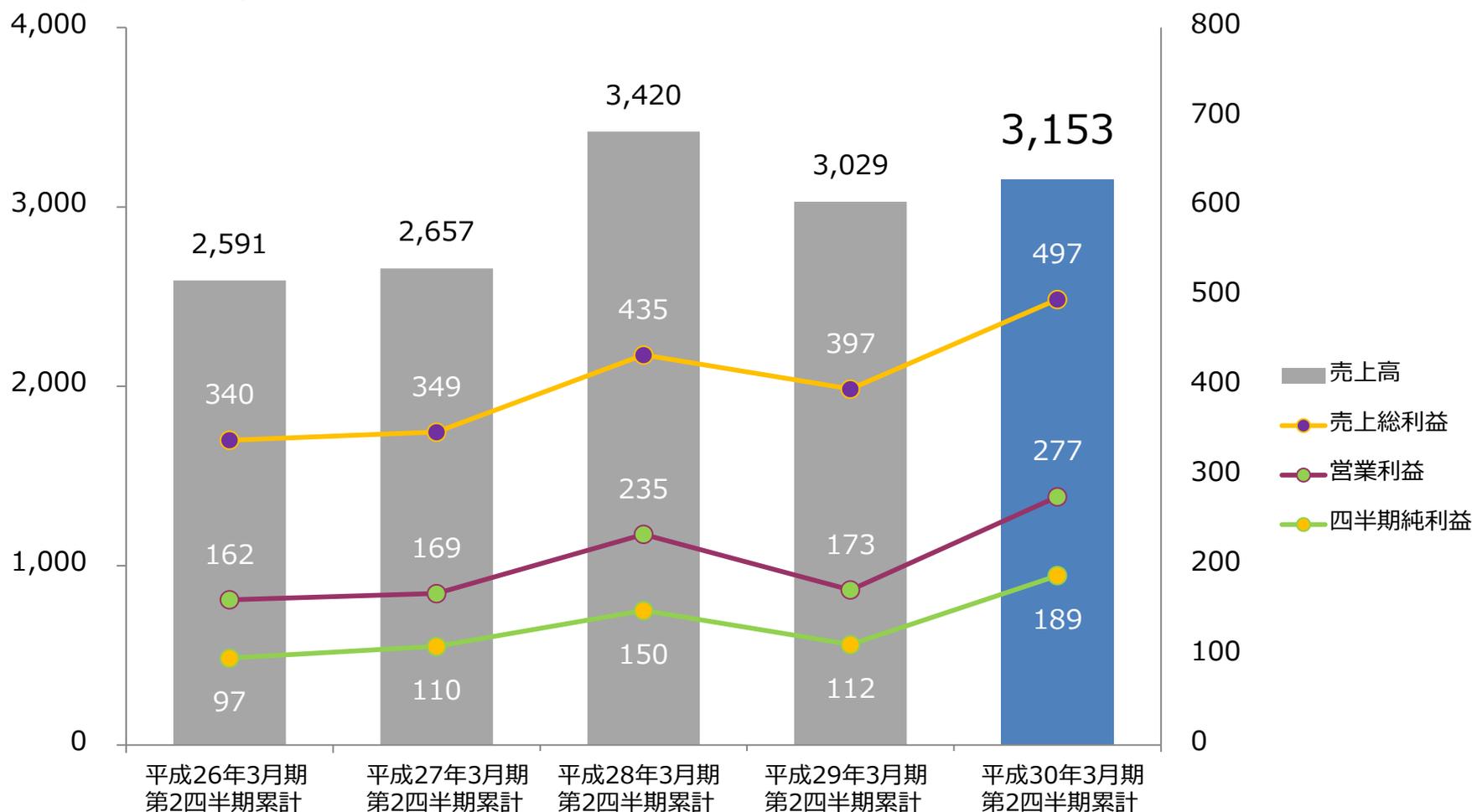


5. 業績推移 (過去5年)

“Knowledge Integrator”

(1) 全社

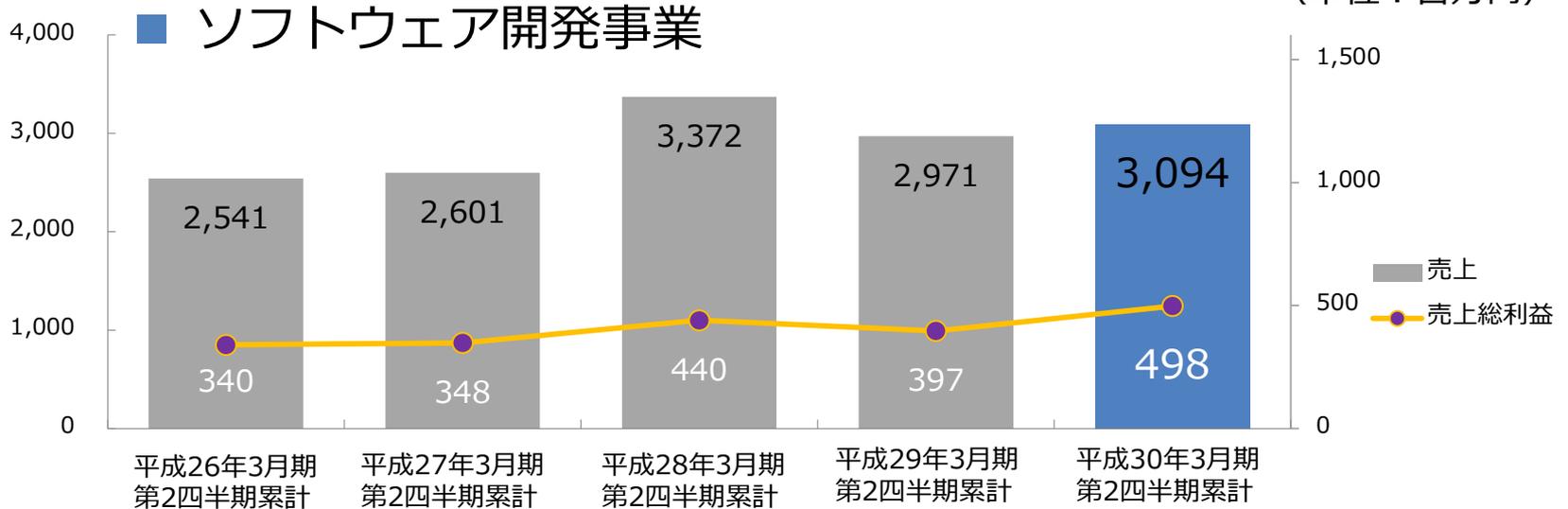
(単位：百万円)



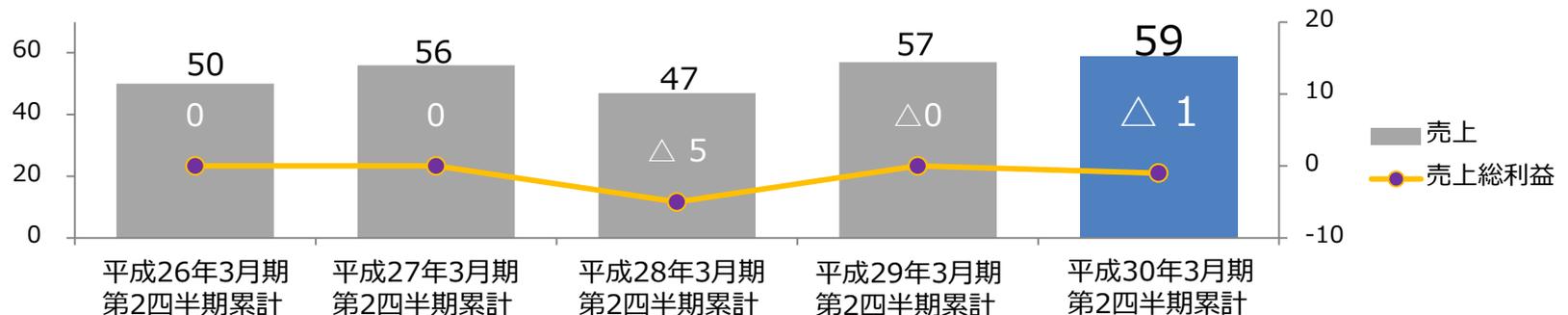
5. 業績推移（過去5年）

(2) セグメント別業績推移

(単位：百万円)



■ BPOエントリー事業



6. 貸借対照表

資産の部



平成29年3月期
期末

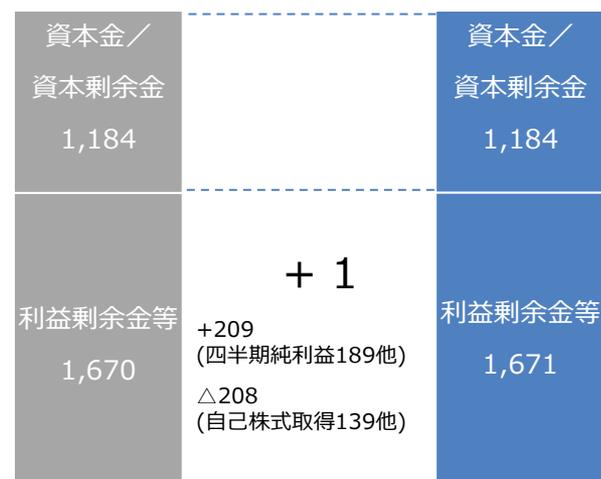
平成30年3月期
第2四半期末

負債の部



(単位：百万円)

純資産の部



平成29年3月期
期末

平成30年3月期
第2四半期末

平成30年3月期

業績見通し

7. 対処すべき課題の進捗状況

“Knowledge Integrator”

対処すべき課題	年度施策	進捗状況	下期
1.ナレッジ型 ビジネスの 深化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> 証券関連に資源を集中 提案型ビジネスを積極的に展開 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに資源集中を遂行。利益率向上に貢献。 提案型ビジネスタスクチームを中心に組織横断の取り組みを推進。 	
2.ファクトリー型 請負ビジネスの 推進	<ul style="list-style-type: none"> 当社の持つノウハウを最大限に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に案件を獲得。 更なるビジネス推進に向けて、営業活動を強化。 	
3.デジタルビジネス への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の情報化投資をにらんだ新たなビジネスチャンス 	<ul style="list-style-type: none"> タスクチームを強化しデジタルビジネスの企画・調査・研究を推進。 顧客への提案活動を推進。 	
4.技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 新卒採用強化 イノベーション創出を担う次世代高度IT人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代高度IT人材育成に注力。 採用計画達成に向けて活動を継続。 	
5.採算管理体制の 維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> PMOとPMRによる管理体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 施策が有効に機能し、不採算案件抑制に寄与。 	

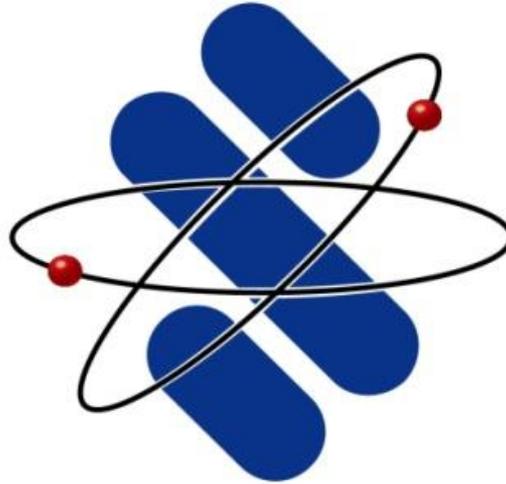
引き続き上記施策に注力。

8. 平成30年3月期業績見通し

通期の業績予想につきましては、公表値（5月12日）から変更ありません。

（単位：百万円）

	平成30年3月期 第2四半期累計実績		平成30年3月期 通期予想	
	金額	前年同期比	通期予想	前年同期比
売上高	3,153	124	6,400	258
営業利益	277	104	450	27
経常利益	282	105	465	23
当期純利益	189	77	305	19



 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

(注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。